

事前評価書

- 1 事業名 老朽ため池等整備事業
地区名 広の池地区

2 事業概要

- (1)位置 半田市
(2)規模・内容 ため池改修 1か所
(3)事業期間 20年度～23年度
(4)事業費 82,950 千円

3 必要性

本ため池は、堤体および取水施設の老朽化が著しく、堤体余裕高・堤体断面が不足している上、堤体からの漏水も多くあります。また、洪水吐施設は断面狭小で能力不足のため、危険な状態にあります。このため、これらの老朽化した施設の改修を行うことで、農地、農業用施設、人家等への災害を未然に防止し、併せて農業経営の安定を図る必要があります。

4 事業効果

(1)費用対効果 (B/C) の総括

区 分	数 値	算 式	説 明
基準年度	H19	—	
総費用(現在価値化)	60,749 千円	①	基準年(評価期間)における総費用(C)
当該事業による費用	71,368 千円	—	
その他費用	-10,619 千円	—	
年総効果額	5,030千円/年	②	内訳は(2)表
評価期間	44年	③	評価期間(年数)
総便益額(現在価値化)	88,509 千円	④	基準年における総便益(B)
総費用総便益費	1.45	⑤=④÷①	費用対効果(B/C)

(2)年総効果額の総括

(単位:千円)

効果項目	年 総 効 果 額	説 明
災害防止効果(農業関係資産)	1,485	
災害防止効果(一般資産)	3,618	
維持管理費節減効果	-73	
計	5,030	

5 事業をめぐる社会情勢

本ため池の受益地は市内有数の農業地域であり、本ため池はそこなかんがい用水源として重要な役割を果たしています。このため、老朽化した施設の改修を行い、営農の安定化を図ることおよび災害を未然に防止することは、地元から大きく期待されています。

6 その他特記事項

特になし